

**2020年度  
保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）**

公表：2021年 3月 31日

事業所名 児童発達支援事業所Tossie 保護者等数(児童数) 23 回収数 17 割合 74 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	10	4	3		一部屋のみで広くはないが、リズムあそびをする時など、活動スペースのイス等を廊下に出したり、子ども達が動きやすいように、都度工夫して安全を考えてくれている。もう少し広い方がよいと思う。	定員10名に対して全体から見るとスペース的には狭いが、基準上は問題ない。構造的にスペースを区切ったりすることは難しいが、活動をグループに分けるなど工夫している。天気の良い日には、屋外で活動する事を基本としている。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	14	3			配置数は適正であると思う。専門性の高い先生がいるが、ST・OT・PTは十分とは思わない。	管理者1名・児童発達支援管理責任者2名・児童指導員1名・保育士2名・指導員2名・作業療法士1名(月2回)と、配置基準は満たしている。さらなる療育内容の充実・安全性の確保を図るため、利用人数によって職員を適宜、配置している。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	17				シンプルな動線なので、施設内はとても分かりやすい。ロッカーには子どもの顔写真が貼ってあり、視覚的にわかりやすい。施設内は段差もなく安全である。	個人ロッカーに写真を貼り、視覚でわかりやすく工夫している。段差はなくバリアフリーになっており、各部屋、トイレ、お風呂全てに鍵をかけて安全を確保している。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	16	1			いつも綺麗に掃除された温かみのある木の床は、お迎えで大人が座った時とても心地よく感じている。	朝、子ども達と職員と一緒に雑巾がけをしている。日当たりも良く、快適である。体を動かす活動の時には、椅子などを活動室の外に出す等、スペースを広く使えるように工夫している。また、活動に集中できるように、おもちゃ等が必要に応じて室外から持ってきている。
	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	17				支援計画や子どもの状況や課題の提示など、親でも気付かない事を、なるほどと感じる内容でとても分かりやすく、的確である。	児童のアセスメントシートを活用し、保護者からの情報を引き出すとともに、日々の活動での児童の様子を観察し、特記事項を記録し職員で共有している。それらを基に児童の実態を把握し、半年ごとに保護者との面談を交えながら個別の支援計画書を作成している。

適切な支援の提供	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	17				できれば新しいトライをどんどん取り入れて欲しい。年長児の当番などさせて欲しい。	個々の発達支援はもちろんの事、家庭内での相談等には随時対応している。現在地域支援は、積極的には行っていない。児童発達支援ガイドラインはファイルに綴じ、玄関入り口付近に置き、いつでも閲覧できる。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	16			1		職員会議や職員ミーティングを通して、職員間で個別の情報を共有し、適正な支援が行われている。
	8	活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	15	1		1	季節を感じる活動内容を取り入れており、子ども達に色々なチャレンジを提案して、経験させてくれることが親としてとても嬉しい。障害があるからできない、ではなく、子どもの可能性をととても信じていてくれるのが、日々伝わる。	日常の活動(リズムあそび・お散歩など)を大事にしながら、非日常である畑での野菜作り・年長児の遠足など、子ども達の発達段階に応じて取り入れている。今年は感染予防の為に、回数は少なく、工夫しながらの取り組みとなった。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	9	5		3	今年には感染予防の為に法人内の保育園との交流がないが、例年は行われている。利用者全員にその機会が与えられているわけではない点が残念である。	例年は子どもの発達段階を考慮しながら、法人内の保育園と、定期的に交流している。今年には感染予防の為に、実施できなかった。
	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	17					重要事項説明は、閲覧できるように常時掲示している。利用者負担についても、利用開始前の重要事項説明面談の際に、説明している。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	17					半年に1度個別支援計画に伴う個別面談を必ず行い、個別支援計画を保護者に示し、同意を得ている。今年には感染予防の為に、書面のみ・電話対応等保護者の希望に添って代替でも対応した。
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	12	3		2	今年には感染予防の為になかったが、以前のように勉強会があると嬉しい。子どもが自ら考え、行動する力を身に付けていく事が大切だと教わった。また、個別に相談しても教えてもらえる。	年に数回、保護者懇談会を行っているが、今年には感染予防の為に、「子どもの育ち」を発行して代替した。唯一、就学相談会のみオンラインにて開催した。

保護者への説明等	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	16			1	送迎の時や連絡帳で、職員と沢山コミュニケーションが取れ、安心感がある。子どもの成長や変化を、いつもとても喜んでくれ、一緒に考えてくれ、職員と一緒に子育てをさせてもらっている事が心強い。	毎日、連絡帳および児童送迎の際に保護者の方と情報を共有している。年度途中から、感染予防再徹底のために玄関先での児童受け渡しとなり、会話の機会が減ってしまったが、重要な内容は必ず口頭で直接伝えるように配慮している。	
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	17				とても家庭的な雰囲気でお話がしやすく、相談も快く受け入れてくれる。日頃のちょっとした心配事でも色々助言してくれ、助かっている。	随時、相談に適切に応じ、助言と支援を行っている。今年は、感染予防の為に、機会が減ってしまった。	
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	12	4			1	Tossieでのつながりで、保護者のお母さん達と沢山の地域の情報を共有できたり、日々の子育ての相談をしあったり、とても助けられている。今年は感染予防の為に保護者会は行われていないが、例年は開催されている。今年はずっとオンライン利用を活用して欲しかった。	保育園の文集作成等、できる限りの協力をはかっている。例年は保護者懇談会を開催したり、親睦会を企画する等、保護者同士の連携を支援しているが、今年は感染予防の為に難しかった。
	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	16				1	就学先を悩んでいた時も、何度も親身に個別相談支援をしてくれ、心が軽くなった。連絡網が整備され、保護者への一斉連絡がスムーズになった。どの保護者も孤立せず、安心して相談できる関係を維持していきたい。親への提案を遠慮せずにしてほしい。進路について不安に思うことを、専門的な知識のある職員がたくさん相談に乗ってくれ、温かな指導にとっても助けられた。	随時、必要に応じて対応している。苦情等に関しては玄関に意見箱を設け、直接申し出にくい事案についても、対応を整備している。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	17					言葉の少ない子どもの表情や、言葉の断片やジェスチャーで、子どもの意思を感じて、見守ってくれている。日々の職員の見線がとても細やかで、感動している。	児童に対しては言葉を一番に大切にし、ジェスチャーも併用しながら意志の疎通に努めている。必要に応じて写真カード等も使い、保護者のご要望があり児童にとって有効であると判断すれば、協力を検討していく。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	16				1	ホームページのブログで日々の活動や職員の想い、今日の給食を見るのがとても楽しみ。配布される活動報告をいつも楽しく、興味深く読んでいる。	毎日ブログにて活動内容や給食を発信している。また、今年は保護者懇談会の代替として写真付きの活動報告「子どもの育ち」を年2回発行して、利用児童全員の育ちの姿を、全保護者が共有できた。年長児の「育ちの遠足」の活動報告も写真付きのお便りで、全保護者に発信した。また、自己評価は年1回ホームページで公表している。

	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	17					職員マニュアルを基に、職員に周知し、十分配慮している。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	16			1		緊急時対応マニュアルを保護者にも配布し、定期的に児童の避難訓練を行っている。防犯マニュアル・感染症マニュアルは周知はしていないため、今後策定し周知に努める。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	14			3		定期的に避難訓練を行っている。また非常時の食事も保護者からお預かりし、個別に管理している。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	17				おかわりをたくさんするほど給食をととも楽しみにしている。母子分離で過ごす事で自分でやりたいという気持ちがたくさん増え、生き生きとした表情になった。通所するようになってお手伝いや、お友達に優しくする事など自然にできるようになった。	完全母子分離で6時間お預りする事業所であるため、お友達・職員と一緒に過ごす事に慣れると、児童本人も自信を持ち、楽しく活動に参加している姿が多く見られる。
	23	事業所の支援に満足しているか	16	1			とても満足している。こんなに温かい場所で就学前の時期を過ごす事ができて、子どもも親もとても幸せだと思う。細やかな配慮と指導に、大変満足している。給食があつて長時間預かってくれる事業所は他になく、伸び伸びと子どもの気持ちを大切にしてくれる。こんな事業所は他にはない。遠足などの行事をもっとして欲しかった。定期利用でない子どもにも非日常を体験できる日があれば良いと思う。	活動内容自体は生活を基盤にしている為、目に見えてわかりにくいのが、この生活が児童本人にとってまさに生活動作に直結し、自信に繋がり、「生きる力」となる。子どもも楽しみながら、自分らしく、自分の意志で生活に参加し、それが力となる。

\*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

\*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

\*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。